

四国のフェリー・RORO 船の就航状況
海を使った物流の効率化のご提案

令和5年3月

四国におけるフェリー・RORO 船を活用した
物流効率化推進協議会

1. はじめに . . .	1
2. フェリー・RORO 船の特徴 . . .	2
3. 新たな高速交通ネットワークの形成 . . .	3
4. 四国におけるフェリー・RORO 船全体就船図 . . .	4
5. 四国に寄港する主なフェリー・RORO 船運航会社一覧	
5-1. オーシャントランス株式会社 . . .	5
5-2. 南海フェリー株式会社 . . .	6
5-3. ジャンボフェリー株式会社 . . .	7
5-4. 四国開発フェリー株式会社 . . .	8
5-5. 九四オレンジフェリー株式会社 . . .	9
5-6. 瀬戸内海汽船株式会社 . . .	10
5-7. 防予フェリー株式会社 . . .	11
5-8. 石崎汽船株式会社 . . .	12
5-9. 松山・小倉フェリー株式会社 . . .	13
5-10. 宇和島運輸株式会社 . . .	14
5-11. 国道九四フェリー株式会社 . . .	15
5-12. 商船三井フェリー株式会社 . . .	16
5-13. 大王海運株式会社 . . .	17
5-14. 日本通運株式会社 . . .	18
6. モーダルシフトによる荷主・ユーザーの喜びの声 . . .	19

1. はじめに ～輸送の進化に対応した海上輸送のあり方～

四国は四方を海に囲まれ、港湾を利用する海上輸送と地域の産業、住民生活との関わりが深い地域です。

この四国における海上輸送でも重要な役割を果たしているのがフェリーやRORO 船です。フェリーや RORO 船は、トラックなどの車両がそのまま乗船することが可能で、陸上輸送と比べると定時性の確保や環境への負荷が少ないなどのメリットがあります。しかし近年では、航路数や取扱貨物量が減少傾向にあり、こうしたメリットが十分に発揮できていない状況にあります。一方、陸上輸送はトラックドライバーの高齢化や深刻な担い手不足が懸念されるほか、排出ガスなどの問題が指摘されています。

これまで、地球温暖化対策の観点から、環境負荷の低い輸送モードを選択する「マルチモーダル」が進められてきました。また、輸送の効率性の追求の観点から、陸上輸送と海上輸送の効果的な接続を求める「インターモーダル」が展開されてきたところです。最近では、これらの観点に加えて、人材不足への対応の観点から、海上輸送と陸上輸送の垣根を越えて一体化して効率性を追求する「トランスモーダル」という新しい輸送形態が議論されるようになってきています。

こうした中、政府は、物流生産性革命の実現を目指すこととしており、平成 28 年 5 月に関係する物流効率化法が一部改正されるなど、物流事業者や荷主などの関係者が、連携して物流の効率化に取り組むことへの重要性が高まっています。四国でもフェリー・RORO 船ターミナルや高速道路網の整備により広域的な輸送ネットワークが整いつつあります。また、新たな大型船投入の動きもあります。

このような状況を踏まえ、「四国におけるフェリー・RORO 船を活用した物流効率化推進協議会」では、フェリー・RORO 船の利用促進を目指し、本冊子「四国のフェリー・RORO 船の就航状況～海を使った物流の効率化のご提案～」を作成しました。

本冊子では、四国の港湾に就航しているフェリー・RORO 船に関する各種情報やフェリー・RORO 船の活用による物流効率化の事例などをご紹介します。

物流の効率化を検討している荷主や運送事業者の皆様は是非、お読みください。フェリー・RORO 船に関する理解を深め、実際に利用を検討する際の一助となれば幸いです。

※各運航会社情報は令和 5 年 2 月時点の情報を掲載
最新情報については各運航会社へご確認ください。

2. フェリー・RORO 船の特徴

① 特徴

フェリーや RORO 船は、貨物を積載したトラックやトレーラー等の車両をそのまま船内へ積み込んで輸送することが可能です。このため、一般の貨物船のようにクレーンなどによる貨物の積み替え作業を必要としないため、陸上と海上の接続をシームレスに行うことができます。

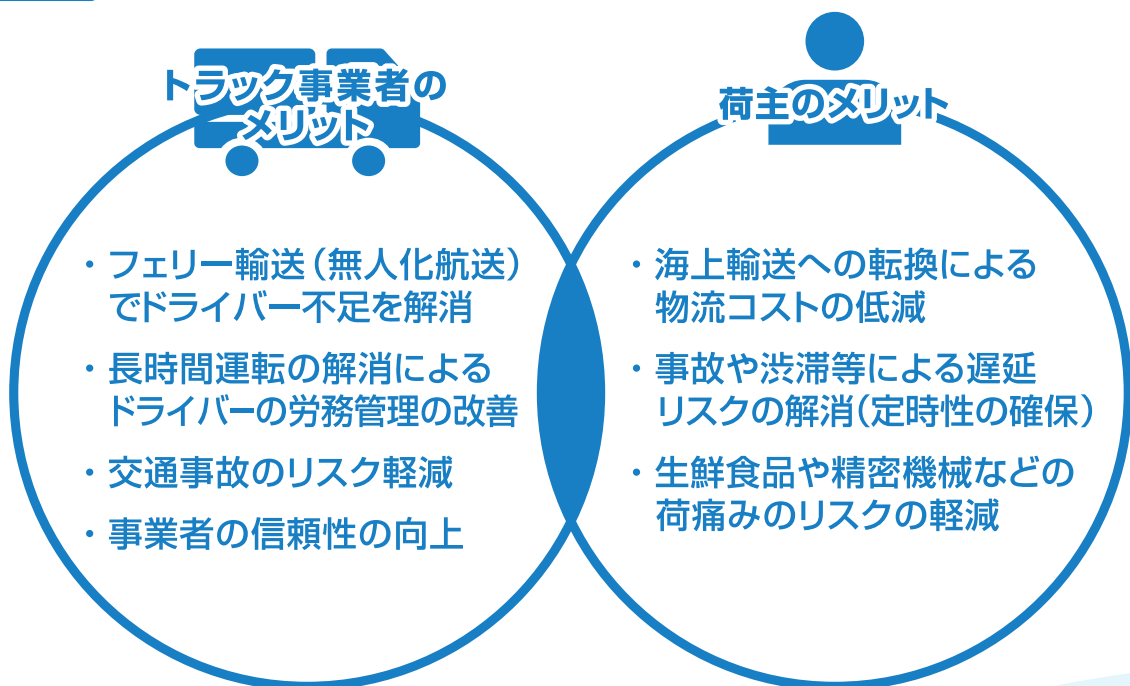
また、トラックによる陸上輸送に比べ、大量輸送が可能で、二酸化炭素 (CO₂) の排出量も少ないため地球環境に優しい輸送機関です。

RORO 船とは・・

roll-on roll-off の略。

構造的にはフェリーと同じ車両を運搬する貨物船ですが、旅客や乗用車は対象としておらず、貨物車両の運搬に特化したものを指します。

② メリット

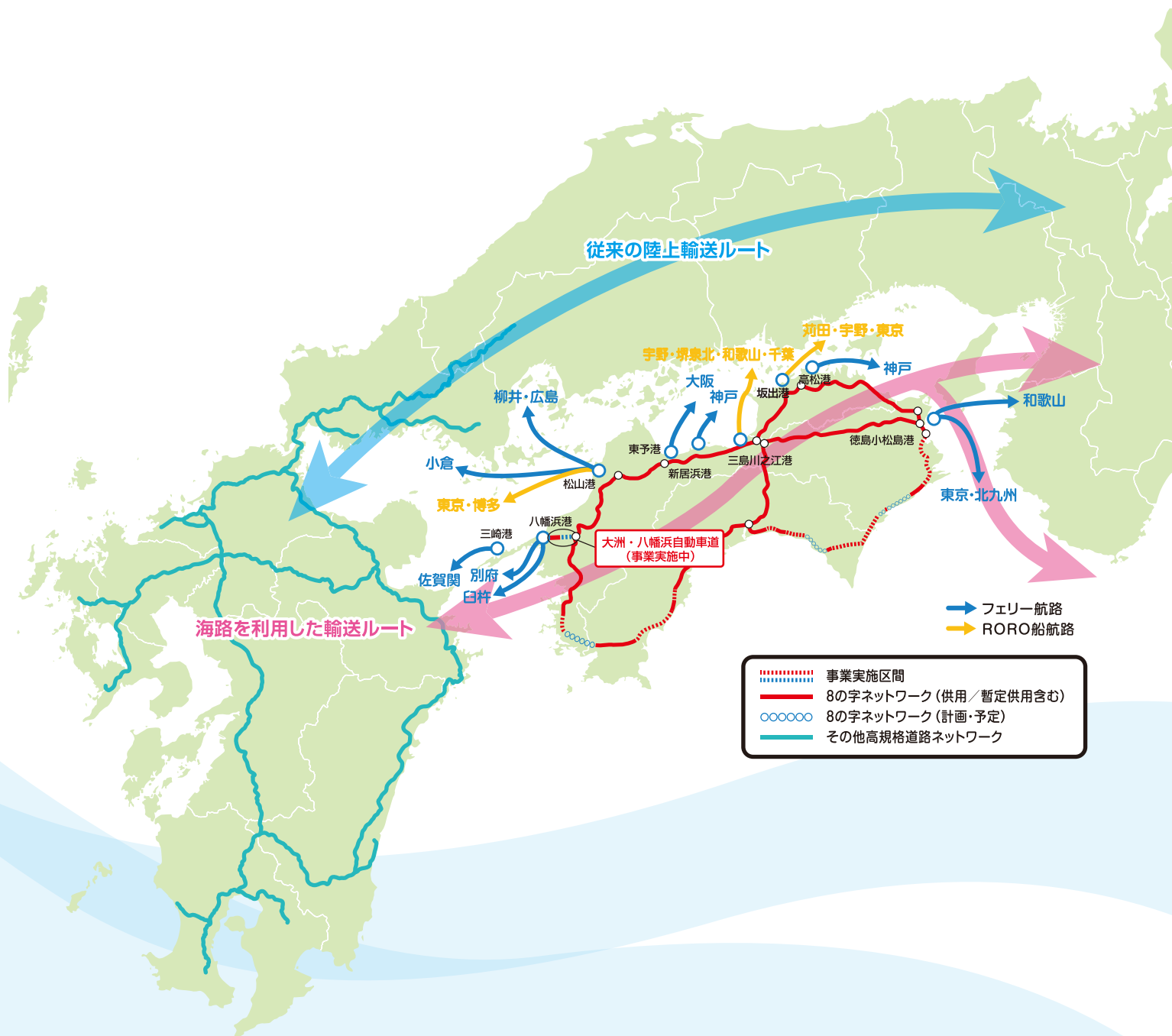


社会全体に与える効果

- ・ CO₂排出量の削減等による環境負荷の軽減
- ・ 大規模災害時において緊急物資を大量輸送することが可能

3. 新たな高速交通ネットワークの形成

フェリー・RORO 船ターミナルと四国4県を8の字の高速道路で結ぶ「四国8の字ネットワーク」の整備が進んでおります。交通拠点となる港湾へのアクセスが強化されることにより輸送時間が短縮され、さらに、フェリー乗船時間は「休息时间」とみなされることから、2024年、働き方改革関連法による自動車運転者の時間外労働の上限規制に対し効果的であるため、これまでの九州～中国～近畿・中部の陸上輸送ルートに加え、九州～四国～近畿・中部などの「海路を利用した四国経由の輸送ルート」の活用も期待されます。今後、フェリー・RORO 船の海上輸送網が、高速道路網を含めネットワークを形成することにより、四国内における更なる物流の効率化の実現が可能になります。

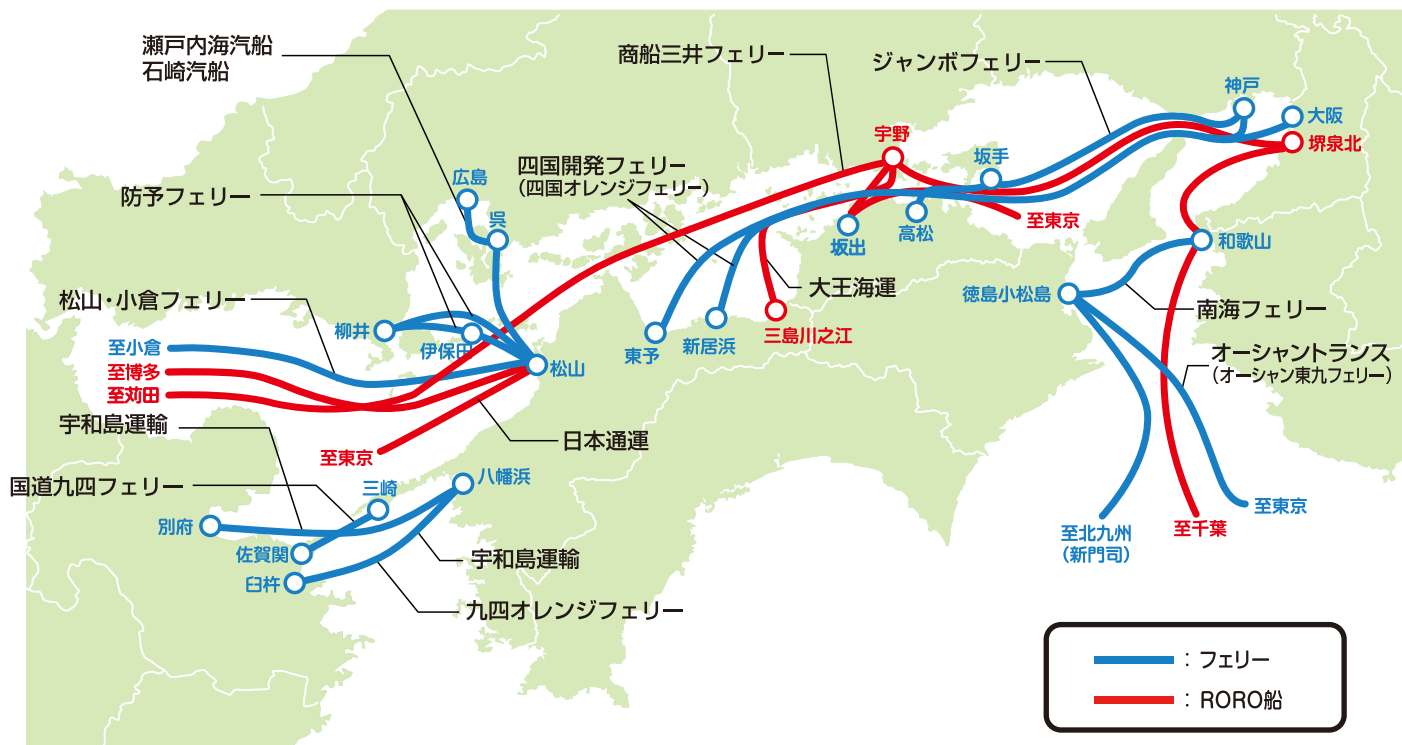


4. 四国におけるフェリー・RORO 船全体就航図

四国と本州・九州を結ぶ内航海運は週あたり 525 便が運航しています。(フェリー: 週 517 便、RORO 船: 週 8 便) (令和 5 年 3 月現在)

これらの船舶の貨物の輸送能力はトラック・トレーラーあわせて、週あたり 16,492 台 / 週に相当します。(フェリー: 15,332 台 / 週、RORO 船: 1,160 台 / 週)

四国におけるフェリー・RORO 船の航路図



方面別就航航路一覧表

方面	就航航路	便数	運航会社	詳細掲載頁
関東方面	北九州-徳島-東京	1 便 / 日	オーシャントランス(オーシャン東九フェリー)	P-5
	刈田-宇野-坂出-東京	1 便 / 週	商船三井フェリー	P-16
	三島川之江-宇野-堺泉北-和歌山-千葉	6 便 / 週	大王海運	P-17
	博多-松山-東京	1 便 / 週	日本通運	P-18
近畿方面	徳島-和歌山	9 便 / 日	南海フェリー	P-6
	高松-坂手-神戸	4 便 / 日*	ジャンボフェリー	P-7
	三島川之江-宇野-堺泉北-和歌山-千葉	6 便 / 週	大王海運	P-17
	東予-大阪	1 便 / 日	四国開発フェリー(四国オレンジフェリー)	P-8
中国方面	新居浜-神戸	4 便 / 週	四国開発フェリー(四国オレンジフェリー)	P-8
	松山-呉-広島	10 便 / 日	瀬戸内海汽船	P-10
	松山-伊保田-柳井	10 ~ 13 便 / 日	防予フェリー	P-11
	松山-呉-広島	10 便 / 日	石崎汽船	P-12
九州方面	東京-徳島-北九州	1 便 / 日	オーシャントランス(オーシャン東九フェリー)	P-5
	松山-小倉	1 便 / 日	松山・小倉フェリー	P-13
	東京-松山-博多	1 便 / 週	日本通運	P-18
	八幡浜-臼杵	7 便 / 日	九四オレンジフェリー	P-9
	八幡浜-別府	6 便 / 日	宇和島運輸	P-14
	八幡浜-臼杵	7 便 / 日	宇和島運輸	P-14
	三崎-佐賀関	16 便 / 日	国道九四フェリー	P-15

*小豆島便は3便/日

5. 四国に寄港する主なフェリー・RORO 船運航会社一覧

5-1. オーシャントランス株式会社

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

オーシャン東九フェリー

営業企画部：088-636-0112
HP:<http://www.otf.jp>

ダイヤ

便数▶1便/日

下り便(出発日)			港	上り便(到着日)		
月・火・水・木・土	金※1	日(祝日)	東京 徳島 北九州	水・木・金・土・月	日(祝日)	火(祝日+2日)
19:30発(1日目)	19:30発 (祝日は18:00発)	18:00発		05:30着(3日目)	06:00着	05:30着 (祝日は06:00着)
↓	↓	↓		↑	↑	↑
13:20着(2日目) 火・水・木・金・日 14:20発(2日目)	13:20着 土 14:20発	13:20着 月(祝日+1日) 14:20発		11:20発(2日目) 火・水・木・金・日 09:20着(2日目)	11:20発 土 09:20着	11:20発 月(祝日+1日) 09:20着
↓	↓	↓	北九州	↑	↑	↑
05:35着(3日目)	06:30着	05:35着 (祝日は06:30発)		19:00発(1日目)	19:00着 (祝日は18:00発)	18:00発
水・木・金・土・月	日(祝日)	火(祝日+2日)	港	月・火・水・木・土	金※2	日(祝日)
下り便(到着日)				上り便(出発日)		

※1 北九州への到着日が祝日となる出発便のダイヤについても同じダイヤになります。※2 東京への到着日が祝日となる出発便のダイヤについても同じダイヤになります。



東京(有明)のりば

〒135-0063
東京都江東区有明4丁目8番6号
TEL:03-3528-1011
FAX:03-3528-1013



徳島(沖洲)のりば

〒770-0873
徳島県徳島市東沖洲2丁目66番地2
TEL:088-636-0109
FAX:088-636-0115



北九州(新門司)のりば

〒800-0113
北九州市門司区新門司北1丁目12番地
TEL:093-481-7711
FAX:093-481-7720

船舶諸元

船名	フェリーびざん、フェリーしまんと フェリーどうで、フェリーりつりん
総トン数	12,636トン
就航隻数	4隻
旅客定員	266名/隻
積載可能車両台数	13mトレーラー188台・乗用車80台/隻



フェリーびざん

フェリーしまんと



フェリーどうで

フェリーりつりん

セールスポイント

海上混載サービス(首都圏/四国/九州 海上混載便)

大量輸送機関である船舶輸送には、中小ロットの商品輸送は不向きと言われてきましたが、トラックやトレーラーで集荷した荷物を港付近の倉庫で20tトレーラーに積み合わせてから当社フェリーへ積み込むことで、中小ロットの荷物を海上輸送へモーダルシフトすることが可能になりました。※各港より約100km圏内は集荷日より最短で3日目配送可能。

100km以上の場合は最短で4日目配送になります。

※重量1t以下、長さ、幅各1.1m以内、高さ2m以内のご利用でお客様による港への持込、引き取りの場合(当社手配による集荷、配達無しの場合、税抜き)

徳島⇄北九州 1t8,000円、東京⇄徳島 1t12,000円、東京⇄北九州 1t13,000円～



就航航路

東京 - 徳島 - 北九州

ダイヤ

便数▶9便／日（上下1便は、通年休航。季節・条件等により運航する場合がございます。）

下り便			上り便		
便	和歌山港発	徳島港着	便	徳島港発	和歌山港着
1 便	休 航		1 便	休 航	
2 便	2:40	4:55	2 便	2:45	5:05
3 便	5:30	7:35	3 便	5:30	7:50
4 便	8:25	10:30	4 便	8:00	10:10
5 便	10:35	12:50	5 便	10:55	13:05
6 便	13:40	15:55	6 便	13:20	15:40
7 便	16:20	18:30	7 便	16:25	18:40 (土休日は 18:35 着)
8 便	19:10	21:25	8 便	18:55	21:15 (土休日は 21:05 着)
9 便	21:50	24:05	9 便	21:50	24:05

**和歌山港のりば**

〒640-8404
和歌山県和歌山市湊 2835 番 1
TEL:073-422-2156
FAX:073-431-4434

**徳島港のりば**

〒770-0874
徳島県徳島市南沖洲五丁目7番39号
TEL:088-636-0750
FAX:088-636-0789

船舶諸元

船名 フェリーあい
総トン数 2,825 トン
旅客定員 427 人
積載可能車両台数 8tトラック 37 台／隻

船名 フェリーかつらぎ
総トン数 2,620 トン
旅客定員 427 人
積載可能車両台数 8tトラック 39 台／隻



フェリーあい



フェリーかつらぎ

セールスポイント**1日8往復 16便**

四国徳島と南近畿和歌山間を約 2 時間で結んでおり、昼夜を問わずいつでもご利用いただけることがメリットです。

走行距離の短縮は勿論、船内にはドライバーズルームもあり、約 2 時間の運航時間はドライバーの皆様の休憩にもピッタリです。

アクセスは徳島港へ徳島自動車道の徳島 IC から約 15 分、和歌山港からは阪和自動車道の和歌山 IC へ約 15 分で、順次開通している京奈和自動車道にも近く、中部エリアへの新たなルートとしてもご検討ください。

**就航航路**

和歌山 - 徳島

ダイヤ

便数▶4便/日(小豆島便は3便/日)

下り便						上り便					
平日ダイヤ			土休日ダイヤ			平日ダイヤ			土休日ダイヤ		
便	神戸	神戸発 → 高松着	便	神戸	神戸発 → 高松着	便	神戸	高松発 → 神戸着	便	神戸	高松発 → 神戸着
1便	↑	1:00 → 5:15	1便	↑	1:00 → 5:15	1便	↑	1:00 → 5:15	1便	↑	1:00 → 5:15
2便	↑	*6:00 → 10:45	2便	↑	*8:30 → 13:10	2便	↑	*6:15 → 11:00	2便	↑	*6:00 → 10:40
3便	↑	*13:30 → 18:15	3便	↑	*11:20 → 16:05	3便	↑	*14:00 → 18:45	3便	↑	*14:00 → 18:40
4便	↑	19:45 → 24:00	4便	↑	*19:20 → 24:05	4便	↑	*19:15 → 24:00	4便	↑	*16:30 → 21:00

*小豆島経由

便	神戸	神戸発 → 坂手着	便	神戸	坂手発 → 神戸着	便	神戸	坂手発 → 神戸着	便	神戸	坂手発 → 神戸着
1便	↑	*1:00 → 7:30	1便	↑	*1:00 → 7:15	1便	↑	7:30 → 11:00	1便	↑	7:15 → 10:40
2便	↑	6:00 → 9:20	2便	↑	8:30 → 11:40	2便	↑	15:15 → 18:45	2便	↑	15:15 → 18:40
3便	↑	13:30 → 16:50	3便	↑	11:20 → 14:40	3便	↑	20:30 → 24:00	3便	↑	17:45 → 21:00
4便	↑		4便	↑	19:20 → 22:40	4便	↑		4便	↑	*22:40 → 5:15

*高松経由

便	高松	坂手発 → 高松着	便	高松	高松発 → 坂手着	便	高松	高松発 → 坂手着	便	高松	高松発 → 坂手着
1便	↑	9:20 → 10:45	1便	↑	11:40 → 13:10	1便	↑	6:15 → 7:30	1便	↑	6:00 → 7:15
2便	↑	16:50 → 18:15	2便	↑	14:40 → 16:05	2便	↑	14:00 → 15:15	2便	↑	14:00 → 15:15
3便	↑		3便	↑	22:40 → 24:05	3便	↑	19:15 → 20:30	3便	↑	16:30 → 17:45



ジャンボフェリー高松のりば
〒760-0065
高松市朝日町5丁目12番1号
TEL:087-811-6688



ジャンボフェリー神戸のりば
〒650-0041
神戸市中央区新港町3番7号
TEL:078-327-3322

船舶諸元

船名	りつりん2、あおい
総トン数	3,638トン、5,200トン
就航隻数	2隻
旅客定員	475名/隻(りつりん2) 620名/隻(あおい)
積載可能車両台数	12mトラック61台(りつりん2) 12mトラック84台(あおい)



りつりん2



あおい

セールスポイント

一貫輸送サービス

国際海上コンテナ輸送から国内雑貨輸送まで、フレコン、機械物、鉄骨、乗用車、トラックから野菜、冷凍食品まであらゆる輸送に対応しています。また、輸送行程の中に自社カーフェリーを組み込むことで輸送費用の削減だけでなく、環境にも優しい物流を実現しています。



就航航路

神戸 - 高松・神戸 - 小豆島
高松 - 小豆島

5-4. 四国開発フェリー株式会社



荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

物流課：0898-64-5557

HP: <http://www.orange-ferry.co.jp>

ダイヤ

便数▶1便/日

東予港～大阪南港		
船名	東予発 上り便	大阪南発 下り便
おれんじえひめ(旅客フェリー) おれんじおおさか(旅客フェリー)	東予 22:00 発	大阪 22:00 発
	↓	↓
	大阪 6:00 着	東予 6:00 着

新居浜東港～神戸六甲		
船名	新居浜東発 上り便	神戸六甲発 下り便
おれんじホープ (カジュアルフェリー)	新居浜 16:20 発※1	神戸 1:20 発※2
	↓	↓
	神戸 23:40 着	新居浜 8:20 着

※1 金曜日・土曜日・日曜日及び祝日の前日・祝日が休航 ※2 土曜日・日曜日・月曜日及び祝日・祝日の翌日が休航



東予港

〒799-1362
西条市今在家 1500 番地 2



大阪南港

〒559-0032
大阪市住之江区南港南 2-2-24



新居浜東港

〒792-0873
新居浜市垣生 3 丁目乙 306-2



神戸港（六甲バース）

〒658-0031
神戸市東灘区向洋町東 3 丁目 2-2

船舶諸元

船名	おれんじえひめ	おれんじおおさか	おれんじホープ
総トン数	14,759トン	14,759トン	15,732トン
旅客定員	519名	519名	218名
積載可能車両台数	トラック175台 乗用車45台	トラック175台 乗用車45台	トラック160台 乗用車30台



おれんじえひめ



おれんじおおさか



おれんじホープ

セールスポイント

効率的なドアツードア輸送／国際貨物も阪神港にフィード輸送

- ・国内貨物、国際貨物全般を対象に、集荷からフェリー航送、配達までドアツードアのシームレス海陸複合一貫輸送をご提案し、安心安全で確実なデイリー輸送で強くモータリシフトを推進します。
- ・無人車航送により運転手は長距離運転から解放されて日帰り勤務が可能となり、有人車も乗船時間＝休憩時間となるので、運転手の心身リフレッシュや労働法令遵守・労務管理上非常に有効です。求人条件の向上にもつながります。
- ・環境に優しく大きなCO2削減、省エネを実現します。
- ・その他、弊社倉庫の利用や九四オレンジフェリー航路とも連携も含め、需要に応じた輸送を提案できます。



就航航路

東予 - 大阪
新居浜 - 神戸

ダイヤ

便数▶7便/日

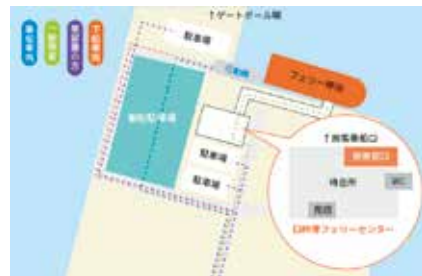
下り便			上り便		
便	八幡浜港発	臼杵港着	便	臼杵港発	八幡浜港着
101 便	1:15	3:40	201 便	4:45	7:05
102 便	2:50	5:15	202 便	7:45	10:00
103 便	8:40	11:05	203 便	11:35	13:55
104 便	12:45	15:10	204 便	15:40	18:00
105 便	14:35	17:00	205 便	17:30	19:50
106 便	18:45	21:10	206 便	22:20	00:40
107 便	21:00	23:25	207 便	23:55	2:15

※土～月曜日は減便・ダイヤ変更する場合があります。HPでご確認ください。



臼杵港

〒796-0089
愛媛県八幡浜市出島 1581 番地 26



八幡浜港

〒875-0034
大分県臼杵市板知屋 1257-7

船舶諸元

船名	おれんじ四国 (2,918トン) おれんじ九州 (2,924トン)
就航隻数	2 隻
旅客定員	485 名/隻
積載可能車両台数	8tトラック 37 台 乗用車 37 台/隻



セールスポイント

効率的なドアツードア輸送／九州～本州間のショートカット！

- ・集荷からフェリー航送、配達までドアツードアのシームレス海陸複合一貫輸送をご提案し、安心安全で確実な輸送でモーダルシフトを推進します。
- ・無人車航送により運転手は長距離運転から解放されて日帰り勤務が可能となり、有人車も乗船時間＝休憩時間となるので、運転手の心身リフレッシュや労働法令遵守・労務管理上非常に有効です。求人条件の向上にもつながります。
- ・九州地域～関西以东の地域のショートカットルートとしても便利な航路です。
- ・環境に優しく大きな CO2 削減、省エネを実現します。
- ・その他、オレンジフェリー関西航路とも連携を含め、需要に応じた輸送を提案できます。



就航航路

八幡浜 - 臼杵

5-6. 瀬戸内海汽船株式会社



広島・呉 ⇄ 松山航路

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

航路事業部:082-253-1212

HP:<http://setonaikaikisen.co.jp>

ダイヤ

便数▶10便/日

下り便				上り便			
便	広島港発	→ 呉(中央棧橋) →	松山観光港着	便	松山観光港発	→ 呉(中央棧橋) →	広島港着
1 便	5:45	—	8:10	1 便	6:25	8:20	9:05
2 便	6:45	7:30	9:25	2 便	8:25	10:20	11:05
3 便	8:15	9:00	10:55	3 便	9:35	11:30	12:15
4 便	9:20	10:05	12:00	4 便	11:05	13:00	13:45
5 便	11:20	12:05	14:00	5 便	12:15	14:10	14:55
6 便	12:25	13:10	15:05	6 便	14:15	16:10	16:55
7 便	13:55	14:40	16:35	7 便	15:20	17:15	18:00
8 便	15:10	15:55	17:50	8 便	16:50	18:45	19:30
9 便	17:15	18:00	19:55	9 便	18:05	20:00	20:45
10 便	19:45	20:30	22:25	10 便	20:10	22:05	22:50



広島港

〒734-0011

広島市南区宇品海岸一丁目 13-26

TEL:082-251-5191



呉港

〒737-0029

広島県呉市宝町 4-44

TEL:0823-21-5111



松山観光港

〒791-8081

愛媛県松山市高浜町 5-2259-1

TEL:089-967-6667

船舶諸元

船名	シーパセオ シーパセオ2
就航隻数	2 隻
旅客定員	300 名/隻
積載可能車両台数	大型トラック 7 台、乗用車 36 台/隻



シーパセオ

セールスポイント

広島と愛媛を結ぶ最短ルート

しまなみ海道を通るルートより走行距離を短くすることができます。

そのため、運転手の疲労も少なく、安全に且つ正確に目的地までお運びします。



就航航路

広島 - 呉 - 松山

ダイヤ

便数▶10~13便/日

下り便				上り便			
運航	柳井港発	伊保田港発	三津浜港着	運航	三津浜港発	伊保田港発	柳井港着
日曜 運休	※ 1:00		3:25	日曜 運休	1:40		4:15
日曜 運休	2:00		4:35	日曜 運休	※ 3:35		6:00
日曜 運休	4:00		6:30		4:50		7:25
	※ 7:00	8:15	9:30		7:30		10:05
	8:50		11:25	※	9:40	10:52	12:15
	10:55		13:30		11:40		14:15
※	12:25	13:45	14:55		13:45		16:20
	14:45		17:20	※	15:05	16:17	17:40
	16:05		18:40		17:35		20:10
※	17:50	19:10	20:20		19:20		21:55
	18:30		21:05	※	20:30	21:42	23:05
	20:25		23:00	土曜 運休	21:15		23:50
土曜 運休	22:40		1:15	土曜 運休	23:10		1:45

注) 上記、※印の便は、周防大島松山フェリー線の運航となります。



柳井港

〒742-0021
山口県柳井市柳井 134
TEL:0820-22-3311

三津浜港

〒791-8060
愛媛県松山市三津ふ頭 1-1
TEL:089-951-3509

船舶諸元

船名	おれんじじゅびたー、おれんじまーきゅりー おれんじぐれいす
総トン数	695トン、696トン、694トン
就航隻数	3 隻
旅客定員	300 名 (じゅびたー・ぐれいす) 280 名 (まーきゅりー)
積載可能車両台数	大型 10 台+乗用車 6 台/隻



セールスポイント

山口県と愛媛県を結ぶ唯一の航路

九州北部から山口県、四国全域の多くの輸送業者様にご利用いただいております。

環境にやさしく、また運転手様が休息できる当航路をよろしく申し上げます。



就航航路

柳井 - 伊保田 - 松山

ダイヤ

便数▶10便/日

上り便				下り便			
便	松山観光港	→ 呉	→ 広島	便	広島	→ 呉	→ 松山観光港
1 便	6:25	8:20	9:05	1 便	5:45	→	8:10
2 便	8:25	10:20	11:05	2 便	6:45	7:30	9:25
3 便	9:35	11:30	12:15	3 便	8:15	9:00	10:55
4 便	11:05	13:00	13:45	4 便	9:20	10:05	12:00
5 便	12:15	14:10	14:55	5 便	11:20	12:05	14:00
6 便	14:15	16:10	16:55	6 便	12:25	13:10	15:05
7 便	15:20	17:15	18:00	7 便	13:55	14:40	16:35
8 便	16:50	18:45	19:30	8 便	15:10	15:55	17:50
9 便	18:05	20:00	20:45	9 便	17:15	18:00	19:55
10 便	20:10	22:05	22:50	10 便	19:45	20:30	22:25



松山観光港

〒791-8081

愛媛県松山市高浜町 5 丁目 2259-1

TEL:089-953-1003



呉港

〒737-0029

広島県呉市宝町 4-45

TEL:0823-21-1489



広島港

〒734-0011

広島県広島市南区宇品海岸 1-13-26

TEL:082-253-1212

船舶諸元

船名	翔洋丸、旭洋丸
総トン数	871トン、875トン
就航隻数	2 隻
旅客定員	300 名／隻
積載可能車両台数	バス又は貨物 7 台、乗用車 35 台／隻



旭洋丸



翔洋丸

セールスポイント

愛媛と広島を結ぶ最短ルート

しまなみ海道を通るより、走行距離が短く、40 トントレーラーも松山～呉間なら乗船OK。

高速道路の重量規制や労務対策に是非弊社フェリーをご活用下さい。

令和元年10月11日新造フェリー「旭洋丸」就航。

令和2年8月1日新造フェリー「翔洋丸」も就航しました。



就航航路

松山 - 呉 - 広島

松山・小倉フェリー株式会社

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

営業部:089-967-7181 (物流関係予約)

HP:<http://www.matsuyama-kokuraferry.co.jp>

ダイヤ

便数▶1便/日

小倉行き 下り便		松山行き 上り便	
松山観光港	→	小倉港	→
21:55 発	→	翌朝 5:00 着	→



松山観光港

〒791-8081
松山市高浜町5丁目2259-1
TEL:089-951-0167



小倉港

〒802-0001
北九州市小倉北区浅野3-10-31
TEL:093-521-1419

船舶諸元

船名	フェリーはやとも2 フェリーくるしま
総トン数	4,238トン、4,277トン
就航隻数	2隻
旅客定員	481名/隻
積載可能車両台数	12mトラック50台、乗用車40台/隻



フェリーくるしま



フェリーはやとも2

セールスポイント

特殊な車両を輸送

愛媛～北九州間を毎日1便・夜間運航しており、早朝5時に入港できることから配達可能エリアが広がります。

また、乗船中はドライバーの休憩時間確保にも役立っており、交通事故リスクの軽減や交通渋滞の影響を受けないなど陸上輸送に比べ安定した輸送手段、かつCO2排出量の削減にもご活用頂けます。

無人車航送による運行コスト削減、本四連絡橋を通行できない特大車や特殊車両を輸送できる点も運送事業者様にメリットが得られるフェリー航路です。



就航航路

松山 - 小倉

5-10. 宇和島運輸株式会社



UWAJIMA-UNYUFERRIES

荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先

営業部:0894-23-2536

HP:<https://www.uwajimaunyu.co.jp>

ダイヤ

便数▶別府6便/日、臼杵7便/日

八幡浜 ↔ 別府					八幡浜 ↔ 臼杵				
便	八幡浜発 →	別府着	別府発 →	八幡浜着	便	八幡浜発 →	臼杵着	臼杵発 →	八幡浜着
1 便	0:20	3:10	6:25	9:10	1 便	5:50	8:15	●0:55	3:15
2 便	6:20	9:10	9:45	12:30	2 便	9:40	12:05	2:40	5:00
3 便	10:15	13:05	14:00	16:45	3 便	11:45	14:10	8:50	11:10
4 便	13:00	15:50	16:45	19:30	4 便	15:35	18:00	12:40	15:00
5 便	17:25	20:15	20:50	23:35	5 便	17:40	20:05	14:40	17:00
6 便	20:30	23:20	23:50	2:35	6 便	○22:00	00:25	18:30	20:45
					7 便	23:50	2:15	20:40	23:00

※○土曜日のみ休航、●日曜日のみ休航。



八幡浜港

〒796-0089
愛媛県八幡浜市出島1581番地26
TEL:0894-22-2100



別府港

〒874-0000
大分県別府市南石垣無番地
TEL:0977-21-2364



臼杵港

〒875-0034
大分県臼杵市板知屋大寺浦
TEL:0972-63-5118

船舶諸元

船名	あかつき丸、おおいた れいめい丸、あけぼの丸
就航隻数	4 隻
旅客定員	あかつき丸 586 名、おおいた 535 名 れいめい丸 586 名、あけぼの丸 546 名
積載可能車両台数	大型トラック 24 台または乗用車 150 台/隻



あかつき丸



おおいた



れいめい丸



あけぼの丸

セールスポイント

九州エリアへ足を運ぶのに便利な航路

フェリー乗船中は約 3 時間の休憩時間になり労働時間の短縮、燃料油など運行経費の削減ができます。またシャーシ輸送も可能です。

宮崎・大分県からはフェリーを利用して四国経由にすると関門・山陽道経由より走行距離が約 200km 短縮されます。



就航航路

八幡浜 - 別府・八幡浜 - 臼杵



荷主・陸運事業者様からの商談のお問い合わせ先
本社(佐賀関営業所):097-575-1020
HP:<http://www.koku94.jp/>

ダイヤ

便数▶16便/日

四国行き			九州行き		
便	佐賀関発	三崎着	便	三崎発	佐賀関着
1 便	7:00	8:10	1 便	7:30	8:40
2 便	8:00	9:10	2 便	8:30	9:40
3 便	9:00	10:10	3 便	9:30	10:40
4 便	10:00	11:10	4 便	10:30	11:40
5 便	11:00	12:10	5 便	11:30	12:40
6 便	13:00	14:10	6 便	12:30	13:40
7 便	14:00	15:10	7 便	14:30	15:40
8 便	15:00	16:10	8 便	15:30	16:40
9 便	16:00	17:10	9 便	16:30	17:40
10 便	17:00	18:10	10 便	17:30	18:40
11 便	18:00	19:10	11 便	18:30	19:40
12 便	19:00	20:10	12 便	19:30	20:40
13 便	20:00	21:10	13 便	20:30	21:40
14 便	21:00	22:10	14 便	21:30	22:40
15 便	22:00	23:10	15 便	22:30	23:40
16 便	23:00	00:10	16 便	23:30	00:40



佐賀関港

〒879-2201
 大分県大分市佐賀関 750
 TEL:097-575-1020(代)
 FAX:097-575-3235



三崎港

〒796-0801
 愛媛県西宇和郡伊方町
 三崎1700-2
 TEL:0894-54-0173
 FAX:0894-54-0174

船舶諸元

船名	速なみ	涼かぜ	遊なぎ
総トン数	995t	1148t	998t
旅客定員	292 名	292 名	292 名
積載可能車両台数	乗用車 48 台	乗用車 57 台	乗用車 51 台
就航隻数	3 隻		



速なみ



遊なぎ



涼かぜ

セールスポイント**九州・四国の最短航路**

愛媛三崎と大分佐賀間を約 70 分で結ぶ最短航路です。

しかも 1 時間毎のシャトル運航を行っています。



就航航路

佐賀関 - 三崎

ダイヤ

便数▶1便/週

東京 - 荻田航路			
荻田港	宇野港	坂出港	東京港
(金) 4:30 発	→ (土) 11:00 着 / 14:30 発	→ (土) 16:00 着 / 18:00 発	→ (日) 15:30 着



東京港



坂出港



荻田港

船舶諸元

船名	ぶぜん
	すおう
就航隻数	2 隻
最大搭載車両台数	シャーシ 160 台/隻
	乗用車 220 台/隻



ぶぜん



すおう

セールスポイント

充実のネットワークと約 1,300 台のトレーララインナップにより、お客様のニーズに合わせた輸送が可能

トレーラーは、20 トンまで積載可能な車両であり、主に無人航走に使用。

一度に多量の荷物を輸送できる環境に優しい車両です。

貨物のタイプに合わせた平車タイプ・

ウイング車タイプの 2 種類をご用意します。



就航航路

荻田 - 宇野 - 坂出 - 東京



ダイヤ

便数▶6便/週(月~土)

中四国 - 関西 - 関東航路								
宇野港 16:00 発	三島川之江港 19:00 着 23:00 発	堺泉北港 6:00 着 8:30 発	和歌山下津港 11:00 着 13:00 発	千葉港 5:30 着	千葉港 12:00 発	堺泉北港 8:30 着 10:00 発	宇野港 14:00 着 16:00 発	三島川之江港 19:00 着
(月)	(月)	(火)	—	(水)	(月)	(火)	(火)	(火)
(火)	(火)	(水)	—	(木)	(火)	(水)	(水)	(水)
(水)	(水)	(木)	—	(金)	(水)	(木)	(木)	(木)
(木)	(木)	(金)	—	(土)	(木)	(金)	(金)	(金)
(金)	(金)	(土)	(土)	(月)	(金)	(土)	(土)	(土)
(土)	(土)	(月)	—	(火)	(土)	(月)	(月)	(月)



千葉営業所

〒260-0024
千葉県千葉市中央区中央港 2 丁目 10 番 6 号
TEL:043-204-2201
FAX:043-204-2269

四国営業所

〒799-0402
愛媛県四国中央市三島紙屋町 7 番 35 号
TEL:0896-24-9211
FAX:0896-24-9229



大阪営業所

〒595-0074
大阪府泉大津市小津島町 5 丁目 4 番
TEL:0725-33-1283
FAX:0725-33-2283

岡山営業所

〒706-0001
岡山県玉野市田井 6 丁目 7 番 2 号
TEL:0863-31-7250
FAX:0863-31-7275

船舶諸元

船名	①第三はる丸、②第五はる丸 ③第六はる丸
総トン数	①8,558 トン、②③12,404 トン
就航隻数	3 隻
旅客定員	①2 名/隻、②③10 名/隻
積載可能車両台数	① 13mシャーシ 100 台・5m乗用車 250 台/隻 ②③13mシャーシ 160 台・5m乗用車 250 台/隻



第五はる丸



第三はる丸



第六はる丸

セールスポイント

- お客様の課題解決のパートナー
 - 働き方改革やドライバーの労務時間管理(2024 年問題)の課題解決への対応
 - 環境対策(CO2 排出削減、SDGs、ESG)とBCP 対策
 - 輸送事故のリスク低減(交通事故・渋滞リスクの低減)
 - 弊社が集荷~配達まで一貫輸送手配、お客様を煩わしません
- 唯一無二の物流網
 - 四国、中国から関西、関東をデリーー運航する唯一の RORO 航路
 - 福島県いわき市に所有する約 4 万坪の倉庫を中継基地とし、東北⇄関東⇄西日本間の一貫輸送サービスを実現
 - 他社航路を併用し、北海道、九州への輸送も可能
- 充実の設備
 - 国内最大級の RORO 船による安定した輸送能力を提供
 - 専用の客室 10 名完備(第 5、6 はる丸)、ドライバーの乗船も可能
 - 1,300 台のシャーシを自社保有



就航航路

千葉 - 和歌山下津 - 堺泉北 - 宇野 - 三島川之江

ダイヤ

便数▶1便/週

東京 - 九州・瀬戸内航路		
博多港	松山港	東京港
(水)18:00 発	(木)2:10 着 / 5:20 発	(金)5:50 着

苫小牧週5便、釧路週2便就航、詳細はお問い合わせ下さい。

**博多港**

福岡市東区 箱崎埠頭

**松山港**

松山市海岸通 松山外港第一埠頭

**東京港**

東京都江東区 有明埠頭

**苫小牧港**

苫小牧市 勇払埠頭

**釧路港**

釧路市 西港



ひまわり5

船舶諸元

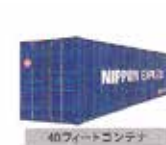
船名	ひまわり5
	さんふらわあ とうきょう
就航隻数	2 隻
最大搭載車両台数	トレーラ 160 台/隻 (もしくは乗用車 251 台/隻)



ひまわり船内

セールスポイント**日通の総合力で全国主要港からの一貫輸送をご提供**

東京港を中継し、四国～北海道の自社一貫輸送をご提供。
 様々な輸送機材を駆使して、大ロットから小ロットまでの輸送に対応できます。



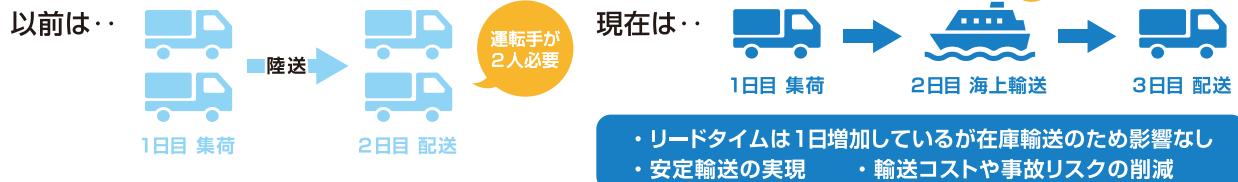
さらに、RSVコンテナを利用し、海上&鉄道の一貫輸送も可能。
 様々な輸送ニーズに対応致します。
 (RSVコンテナ：海上輸送と鉄道輸送の両方に対応できるコンテナ)

**就航航路**

博多→松山→東京
 東京→苫小牧
 東京→釧路

6. モーダルシフトによる荷主・ユーザーの喜びの声

事例1 陸送から RORO 船へ転換してコストや事故リスクを低減



利用者様からの声…

- ・1日10トントラック2台で陸上輸送を行っていましたが、海上輸送に切り替えることでリードタイムは増加しましたが、その分安定的に輸送が行え、料金も2車両分から約1.5車両分になり、CO2排出量についても格段に減りました。これにより、問題となっていたトラックドライバー不足の恒常化も解決しました。
- ・京浜工業地帯の石油化学メーカーに対して、トラック輸送からRORO船へのモーダルシフトを提案したところ、輸送の定形化とCO2の削減で評価を得られました。

事例2

フェリー利用でドライバーの労務環境を緩和

従来の陸上輸送ルート



転換後の海上輸送ルート



利用者様からの声…

フェリー乗船中は休息期間になるので、労働環境の緩和につながりました。陸送に比べ、走行距離が約200km短縮されるためCO2・燃料の削減も可能になりました。一方、フェリー運賃・本四連絡橋の通行料が必要になるので経費的に負担が増している状況にあるため、今後これらを安くしてもらえると更に利用が増えます。

事例3 フェリー利用で、早く・安全・確実な輸送を実現

例：福岡(県庁)～松山(県庁)の輸送で比較

総距離／470km	163km短縮	総距離／307km
総時間／6時間40分	40分短縮	総時間／6時間
運転距離／470km	224km短縮	運転距離／246km
運転時間／6時間10分	2時間40分短縮	運転時間／3時間30分
CO2排出量／78,700g	37,600g短縮	CO2排出量／41,100g

全て陸路の場合



フェリー利用の場合



利用者様からの声…

しまなみ海道を走るより、フェリーを利用の方が早くて確実に輸送できるようになりました。乗船中の2時間30分はドライバーにゆっくり休息してもらうことで、事故の危険性も少なくなり安全運転につながっています。

事例4 フェリーによるドライバーの休息期間の確保

例：新居浜港～神戸港の輸送で比較

輸送距離／234.0km 26.6km 短縮 輸送距離／207.4km
輸送時間／約3時間40分 3時間20分増加 輸送時間／約7時間

全て陸路の場合



フェリー利用の場合



利用者様からの声・・

有人車の場合、船内で休息が確保できることに加えて定時性に優れているので助かります。

事例5

車両の乗船状況

本四連絡橋を通行できない車両を
直接輸送



瀬戸大橋を通行できない長大物
(ラフテレーンクレーン)

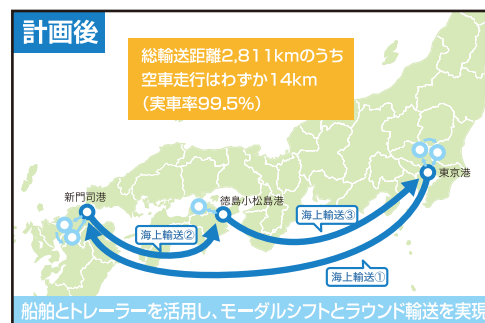
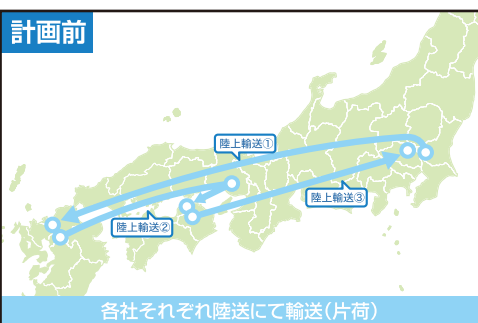


瀬戸大橋を通行できない重量物
(クラブバケット)

利用者様からの声・・

香川県で生産したクレーン等の車両を本州まで運搬する必要がありますが、本四連絡橋では重量の最大制限値があり通行できません。重量制限のないフェリーを利用することで円滑な物流ルートを確認し輸送することができます。

事例6 異業種荷主3社の連携による船舶への共同モーダルシフトを実現



利用者様からの声・・

これまでは異業種荷主3社が個別にトラックで製品等を陸送していたところ、出荷量の平準化や出荷日の調整等の対策により、船舶への共同モーダルシフト(無人航送)を実現しました。今回の取り組みでは、大きな経済効果よりも、持続可能な物流をしっかりと構築するということが目的としており、ドライバー不足やBCP(業務継続計画)への対応、ロジスティクスの強靱化といった観点から輸送モードを最適化していくことが最大の狙いです。

平成30年 総合効率化計画認定事業

その他、利用者様からの声・・

- ・2015年9月に通達が一部改正され、フェリー乗船時間がすべて休息期間となったので、ドライバーの勤務体制の改善を通じて負担軽減となり安全運行につながりました。
- ・四国～九州間で本四連絡橋を通行できない特殊車両を輸送できるため助かっています。また、夜行便(所要時間7時間5分)のため船中泊ができることで休息期間として設定しています。

**四国におけるフェリー・RORO船を
活用した物流効率化推進協議会**

共同事務局／

四国地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室

TEL: 087-811-8360

四国運輸局 交通政策部
環境・物流課

TEL: 087-802-6726

2023.3.17